

あい 愛 & あい 会

-AI&AI-

FUKUOKA NURSING FEDERATION

福岡県看護連盟だより

令和6年1月15日発行

<http://www.fukukanren.jp>



日本看護連盟
シンボルマーク

Vol. **93**

会員数
(令和5年度)

7,385名

謹賀新年 2024

更なる飛躍の年に！



カンタ

レンコ

衣装制作：
福岡県看護連盟

Contents

- 02. 新年のご挨拶
- 03. ワンヘルスー福岡から世界へー
- 04. 看護職議員活動報告

- 06. 新春の抱負
- 08. 研修会報告
- 10. 青年部の窓

- 12. 私たちの支部/要望書提出/
編集後記

新年のご挨拶



福岡県看護連盟会長
塚崎 恵子

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、通年の連盟活動へのご支援ご協力に、心から感謝申し上げます。

さて、世界は動き始めました。国民の関心は、コロナ禍・戦争・テロ・核問題等、脅威や危機を乗り越え「命を守る・生活を守る」「国難災害に国をあげて対応できる」その様な国づくりに期待が寄せられています。

人々の健康と命を守る上で、ゆるぎなく挑戦する新たな連盟活動としては、多職種連携で全国初(令和3年制定)の「福岡県ワンヘルス推進基本条例」の推進に意欲を漲らせています。ワンヘルスの考えとは「地球環境の健全化は、人の健康と動物の健康を同時に考えていかねばならない」というのが基本です。今や人獣共通感染症が6割を占めると言われている地球環境の中で、多くの国際機関が取り組む世界共通の理念となっています。是非共皆さんと一緒に、ワンヘルス推進活動を通して、人生100年時代の社会を豊かなものに繋いでいきましょう。

また、本年は衆議院選挙の年となる確率が高いことを踏まえ、自民党職域支部として一丸となって、あべ俊子・たかがい恵美子の両看護職国会議員の高得票再選を目指して頑張る所存でございます。

福岡県看護連盟は、福岡県看護協会と互いにその組織力と底力をもって、しっかりと協力し合い「看護の道」を切り開いてまいります。政治活動がますます重要になってきます。“制度を構築し、財源を確保し、予算化していく”そのことができるのは、看護職を代表する国会議員の先生方です。看護職がその実力を如何なく発揮できる社会を築くための連盟活動に、本年も一層のご支援をお願い申し上げます。

この一年が皆様にとりまして、とても素晴らしく良い年でありますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

尚、連盟活動につきましては、忌憚のないご意見をお聞かせくだされば幸甚です。



日本看護連盟会長
高原 静子

新春のお喜びを申し上げます。

会員の皆様にはどんな抱負を胸に新しい年を迎えられたでしょうか。

今なおコロナ禍にあり最前線に対応して頂いている看護職の皆様にご改めて感謝と敬意を表します。

コロナ禍の2021年「公的価格評価検証委員会」の設置が政権公約として公表され、看護職の処遇改善に関しては、「補助金事業」、「看護職処遇改善評価料」の新設、「医療職三表」の改定が実施されました。また、2023年10月「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が改定、公表されました。しかし、道半ばです。看護職に追い風が吹いているこの時に、全ての看護職の処遇改善に向けた財政措置を実現させるために皆様と共に前進したいと思います。

少子高齢化社会にあって、あらゆる場での看護の提供が必要であり、今まさに看護職の活躍が求められています。看護職が役割を果たし、誇りを持ち活躍できる環境整備は不可欠です。そのためには、現場での改善、改革に向けた努力の積み重ねが必要であることは当然ですが、政策を決定する国会・地方議会の中で看護の声を代弁することができる人材を国会に送り出すことが重要です。

さて、2024年は時期不明ですが衆議院選挙の年になるでしょう。現在の4人の看護職国会議員が一人も欠けることなく活動していただくためには皆様のご協力が必要です。また、組織内候補者予定者「石田まさひろ参議院議員」の後援会活動も開始いたしました。皆で協力し合い頑張りましょう。

看護連盟は2024年も変わることなく、看護現場の課題を看護政策として確実に実現し、「看護連盟があつてよかった」と組織の存在を実感できる組織作り、活動を皆様と共に目指していきたいと思ひます。





ハワイ大と福岡県のMOU締結式

ワンヘルス～福岡から世界へ～



アジア獣医師会連合会長
日本獣医師会会長 藏内 勇夫

明けましておめでとうございます。

看護職の皆様はじめ関係者の並々ならぬご尽力で、ようやく、社会はポストコロナの時代を迎えることが出来ました。季節を問わず流行するようになったインフルエンザへの対応をはじめ、引き続き、ご多忙な日々をお過ごしのことと拝察いたします。このように、ワンヘルスの最前線で、私たちの健康を守る闘いを続けておられます皆様に、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、去年は、このワンヘルスの取組に大きな進展がありました。

国会でもワンヘルスが議論されるようになりましたが、3月14日、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟が設立され、林芳正外務大臣(当時)が会長に、武見敬三参議院議員(現厚生労働大臣)が会長代行に、また、麻生太郎先生が最高顧問に就任されました。国の取組の加速が期待されます。

また、ハワイ大学が大学院レベルのワンヘルス教育に取り組み始めたことから、私は1月に同大学を訪問し、福岡県との連携を協議しましたが、4月21日、服部誠太郎知事と再び同大学を訪問し、福岡県とハワイ大学とのワンヘルスに関する連携を定める覚書(MOU)を締結していただくことができました。これから、この覚書に基づく学生や研究者の相互交流が始まります。

4月28日には、台湾台北市で開催された世界獣医師会大会(WVA2023)に招待され、ラファエル・ラガンズ同会会長からワンヘルス特別賞をいただきました。私のこれまでの取組を評価していただき、大変、光栄であり、益々、精進しなければならないとの思いを新たにしました。

今日、ワンヘルスは、世界保健機関(WHO)等多くの国際機関が取り組む世界共通の理念になっていますが、5月に開催されたG7広島サミットの首脳コミュニケや岸田内閣の「骨太の方針2023」(6月)に、その実践の取組が明記されました。

また、わが国の感染症危機管理の司令塔として「内閣感染症危機管理統括庁」が9月1日に設置され、福岡県と私が会長を務めるアジア獣医師会連合(FAVA)も、アジアのワンヘルスの司令塔機能を期待する「FAVAワンヘルス福岡オフィス」(略称FOF)を共同設置しました。FOFは、8月1日、天神1丁目1番地アクロス福岡13階でオープンし、私が所長を務めています。

このように、福岡を中心としたワンヘルスの取組は着実な歩みを続けていますが、今年は、この福岡の取組をアジアだけではなく世界に広げることを私の使命として、さらに全力を尽くしてまいりますので、皆様の更なるご支援をお願いいたしまして、新春のご挨拶といたします。



ラファエル・ラガンズWVA会長よりワンヘルス特別賞授与



FOFの開所式

Report

文部科学副大臣を 拝命いたしました 衆議院議員 あべ俊子



新年あけましておめでとうございます。

皆様には大変お世話になっております。少子高齢化で地方は厳しい状況の中、世界情勢の変動、コロナ禍で拡大したDXなど多くの事柄が急速に変化しています。これらの変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進に繋ぐ方法を常に考えています。

昨年12月には皆様のご支援のもと、文部科学副大臣を拝命いたしました。



コロンビアの避難民施設にて



看護師の方々との勉強会

子どもたちの心身を健やかに伸ばすことができる教育文部科学行政に全力で取り組んで参ります。時代が大きく動いていますが、いつの時も政策立案の基本となるのは現場の声です。人や社会を支える看護が時勢に基づいて変革することを貴連盟の皆様と共に支えて参りたいと存じます。

Report

一人ひとりがその個性を 活かし活躍できる社会環境を 衆議院議員 たかがい恵美子



新年明けましておめでとうございます。穏やかな初春に福岡県看護連盟の皆様のご健勝を慶賀申し上げます。国内外の情勢変化激しい折、一貫して国民福祉の向上にご尽力賜り誠にありがとうございます。

尊厳を重視した包摂性の高い成熟社会を形成していく上では、看護政策をはじめ社会保障制度のさらなる充実強化が不可欠です。各々が幸せを実感できる人生100年時代となるよう、皆様とともに専門職の知見を活かして、変化に対応する公共政策を着実に実現してまいります。

先の臨時国会において、衆議院東日本大震災復興特別委員会の委員長に選任され、党政調では前年に続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長を務める他、女性の生涯の健康に関するPTで座長を預らせていただいております。いずれも時機を失することなく解決策を講じるべく、現場優先に広く意見を聴取して、粘り強く議論を展開しております。

各地でご活躍の皆様の笑顔が守られ、ご家族共につつがなく過ごされますことを願い、新年のご挨拶といたします。



復興特委員長



IPU会議にアンゴラ出張

Report

義務教育における ICTと主権者教育 那珂川市議会議員 ひじ英治



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

那珂川市では県の指定を受け、義務教育におけるICTの研究を行っています。那珂川市議会では、中学校で行う社会の授業で「若者の政治参画」をテーマに生徒の皆さんが考える市政への取り組みのプレゼンテーションを受け、その提案が市政に反映できる

のか、若者が政治への関心を高められるのかなどについて、ディスカッションを行いました。中学生とは思えないような実践的な企画を提案され、大変驚きましたが、若い皆さん方からのエネルギーに圧倒されました。義務教育のICT導入は、等しく教育を受けるためのツールとして、また、これからの人材育成において、無くてはならないものと強く感じました。



中学生からのプレゼン

Report

予算委員会理事を 拝命いたしました

参議院議員 石田まさひろ



福岡県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

国会において、予算委員会理事(次席)、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命いたしました。特に、予算委員会は社会の注目を集める難しい委員会ですが、役目をしっかりと果たしていけるよう尽力いたします。また、国会対策委員会副委員長として円滑な国会運営に向けて走り回ると共に、厚生労働政策を推し進めていきます。

「看護婦等の確保を推進するための措置に関する



予算委員会にて



予算・税制等に関する政策懇談会にて

基本的な指針」が31年振りに改定されました。これは、日本看護連盟・日本看護協会から指針改定の要望が看護問題小委員会に提出され、政府へ改定を要請した賜物です。看護師の確保推進という指針の目的を果たすため、時代に即した指針への改定が実現しました。

引き続き、現場の声をしっかりと受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動して参ります。

Report

新年のごあいさつ

参議院議員 友納理緒



国会議事堂をバックに

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまに国政の場へ送り出しいただいてから約1年半が経過しました。昨年の国会では、参議院の委員会で、看護職の処遇改善、来るべき有事に備える内閣感染症危機管理統括庁への看護職の積極的な登用、訪問看護への支援等を訴えました。通常国会においては、看護職の定義を明確にする介護

保険法等の改正もなされ、看護師出身の弁護士として看護職に関する法律を整備する自身の役割を再確認したところです。

看護職の処遇改善については、一昨年の当選後、寝たきりだった医療職俸給表の改定がなされ、選挙で訴えていたことが1つ実現しました。本年の診療報酬等のトリプル改定に向けての議論も加速していきます。この改定が皆さまの給与アップに繋がるようにしっかりと取り組んでまいります。

看護の現場の声を国政に! 本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



厚生労働委員会質問



第212回臨時国会開会式

Report

遠賀町で ワンヘルス宣言

遠賀町議会議員 野口久美子



令和5年9月議会一般質問で、私は遠賀町で「ワンヘルス宣言」をするよう促しました。遠賀町は、豊かな自然を有し、「まちがつながり、ひとがつながる、未来へつなぐ遠賀町」を将来像に町づくりに取り組んでいます。第74回福岡県植樹祭終了後、遠賀町長は、声高らかに【遠賀町ワンヘルス推進宣言】をいたしました。こんなに

早く、緑の環境を推進する植樹祭の場でタイミングよく宣言できたことは、歴史に残る大変うれしい出来事です。

これからも、時代を見据え、未来を担う子供たちに緑豊かな自然とともに、「人の健康」「動物の健康」「健全な環境」が調和した社会を次世代に繋いでいけるよう、議員として微力ではありますが、頑張ります。



ワンヘルス宣言

顧問 丸山 真紀子

今年の楽しみは、コロナで延期していた11月出発予定五度目のスペイン旅行です。メジャーな場所は勿論の事、ダリ美術館、口も顔も手も真っ黒にしてアーモンドソースで食べるバルセロナ郊外マシアボウのネギ焼、バルでのちょっと一杯梯子酒等、夢は果てしなく広がります。(スケジュールの関係で無理な事が多いのですが・・涙)



その他として今年もホークス熱烈応援。羽生弦結さんのアイスショウや和歌山のアドベンチャーワールドへパンダ🐼を見に行きたい!!

後期高齢者ですが元気に明るく楽しく日々を重ねていきたいと思っています。



入社してから4年目となりが求められ、業務の采配しています。

またプリセプターとして把握し、カンファレンス日々の看護ケアの指導を通じて自分自身も成長する1年になりました。

今後も自分を含め看護レベルアップを意識し、より果のある教育的な関わりを探究しながら飛躍の年になると思います。

福岡県看護連盟前幹事長 前田 三枝子

第一線を退くと「終活」の文字が頭から離れない。あれも、これも整理して、身軽になって、世界一周の船旅に出よう。待てよ!介護資金を考えると高額出費は無理!自宅から徒歩30分程の距離に博物館、図書館、公民館、大学、公園等がある。豊かな社会資源を活用しない手はない。「知活」に励もう。早速、大学の公開講座を受講している。新しい年は「脚活」「笑活」にも励もう。



Z世代

新春の

世代を
未来へつ

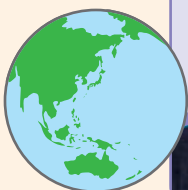
X世代

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 中ノ森 美知子

新年おめでとうございます。

“人生100年時代”に倣い、60代後半ですが非常勤として勤務しています。

若い頃は、定年後も仕事をするとか、外国の若者と一緒に仕事をすることは想像もしませんでした。現在、特定行為研修事務局と兼務で、特定技能生と現場を繋ぐお手伝いをしています。複雑・多様化する医療・看護のニーズに応えていけるよう、職域や国籍の枠を超え、看護職が生涯を通して、元気に活躍できる職場環境作りのお手伝いが出来れば嬉しいです。



病院 有吉 芽唯

り、リーダーシップを発揮するこ
記を行うことがとても難しく感じ

新人の現状や目標、課題につい

スや
通し
手と

力の
の効
方を
した



福岡赤十字病院 田中 優子

私はがん患者さんと関わる中で緩和ケアについて興味をもち、緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。周囲のサポートを得ながら、昨年からは緩和ケアの専従看護師として活動を開始しています。専門的な知識・技術の未熟さではありますが、日々患者さんが希望する生き方ができるよう多職種と協働して看護に取り組んでいます。今年も自己研鑽を継続し、更なるスキルアップができるよう努めていきたいと思っています。



の抱負
超えて
ながる輪

Y世代

飯塚病院 長谷川 千絵

3年余り続いたコロナ禍で、不自由な日常生活を余儀なくされましたが、スタッフ全員で力を合わせて乗り切ってきました。その中で、少しでもストレスを解消できればと思い、昨年よりホットヨガに通い始めました。ヨガで汗を流した後は、とても気持ちよく心身共にリフレッシュできています。今年は、大好きな旅行に行ったり、習い事も継続しつつ、心も身体も健康な状態で、やりがいを感じながら仕事に取り組んでいこうと思います。



代

久留米大学病院 四方田 暁美

50代の目標は断捨離です！私を取り巻く環境のムダ・ムリ・ムラを取り除いていきたいです。干支の「甲辰」となる2024年は、これからの成長をさらに形作っていく年だそうです。私自身も更なる進化を求めてチャレンジングに成長するため、不要なもの処分、仕事の効率化、お腹の脂肪燃焼などなど、いろんな意味での断捨離を目指します！

50代は余計なものを断捨離して、笑顔と健康で資産運用しながら私らしくEnjoyします!!



福岡看護連盟 第1回会員研修会
「看護と政策過程」に参加して



北九州4支部 石橋 江里子

令和5年9月16日(土)元厚生労働副大臣 衆議院議員 古賀篤先生をお招きし約350名余りの参加者で開催された看護連盟会員研修会「看護と政策過程」に参加させていただきました。看護職員就業者数の推移・不足・確保に向けた施策の方向性など、政策と紐づけてのお話を受け、処遇改善の仕組み、キャリアアップに伴う俸給改定など厚生労働省との協議や自民党内での看護小委員会などで議員の皆様が問題提起の場を踏んで政策実現にむけて活動されているのを知ることができました。お話の中で「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改定については、平成4年の法案成立からなんと30年後での指針の改定が見直されたことを知り、コロナ禍での医療逼迫がクローズアップされたことでピンチをチャンスとし政策として看護職の処遇改善につなげることができたのかも感じました。しかし本当の意味でこれから看護問題に

目を向けた政策こそが医療・看護の改善につながるのではないかと期待します。

現在、医療機関別での処遇改善には大きくその事業所自体の方針のみが反映され限界があるのではないかなど疑問に思うこともあります。国の方針として落とし込んで頂き具体的なベースアップや雇用体制への改善につなげて頂きたい。その為にはこれからもっと私たち現場から声を上げ連盟活動を通し、その声を看護職議員の方々へお伝えし国政に挙げていただく事が重要なのだと強く感じました。今回の研修を受け益々現在の衆議院議員・参議院議員の看護職議員の応援をしていきたいと感じました。



衆議院議員 古賀篤先生



九州ブロック
「会長・副会長・幹事長・支部長・青年部合同研修会」に参加して



筑後1-1支部 支部長 四方田 暁美

9月23日に九州ブロック協議会 会長・副会長・幹事長・支部長・青年部合同研修会が鹿児島市で開催されました。九州ブロックのネットワーク強化と次世代を惹きつける方策を見出すことを目的に九州8県の代表者が参加しました。講演は日本看護連盟青年部の岡山亮憲幹事を講師とした「次世代を惹きつける看護の未来」がテーマでした。グループワークでは「現在の課題を明らかにし、次世代を惹きつける方策を見出す」を議題に各役職の立場で各県の代表者が熱く語り合いました。次世代看護師を惹きつけるには、看護協会との連携が最重要であること。各施設のトップが看護連盟活動

に理解があること、さらに看護連盟活動を正しく説明できる看護管理者の育成が不可欠であることが発表されました。私も看護管理者である支部長として支部の研修会活動のさらなる充実尽力したいと思います。

鹿児島研修後は、鹿児島屋台村で美味しいものを食べ、温泉を満喫しリフレッシュすることができました。鹿児島県看護連盟の皆様有難うございました。



福岡看護連盟第2回会員研修会
「政策を身近に感じる」に参加して～看護の現場の声を政策に繋げるために～



北九州5-1支部 支部長 矢治 幸子

10月6日、自由民主党福岡県議団 幹事長 中尾正幸議員をお迎えし、「政策を身近に感じる講話」というテーマでご講演頂きました。

大学卒業後から議員になるまで様々な職業経験をされており、何かを成し遂げるには人脈や機動力が大切であることを教えて頂きました。

質疑応答では多くの意見が上がり、「物価高騰の中、診療報酬が年々下がり給与の増額ができない。」と言う意見に対しては、「今後国も助成する必要がある。」と答えられ、「縦割りの行政ではなく、横断的に全体を把握できる部署を作って欲しい。」「現場の声を政策議論の

テーブルに今後も上げて欲しい。」などの意見には「皆さんの声を政治の場に届けていきたい」と仰っていました。現在生じている医療現場での問題を声に出していくことの重要性を改めて痛感しました。サプライズで大家敏志議員が登壇され、2024年診療報酬改定で看護の処遇改善に取り組みたいと心強いお言葉も頂き、連盟活動に取り組む事が職場環境の改善に結びつく第一歩だと再認識しました。



福岡県議会議員 中尾正幸先生

「看護管理者等政策セミナー」に参加して



福岡県看護協会 副会長 作本 和美

2023年11月16日(木)17日(金)の2日間、佐賀県グランデはぐくれにおいて看護連盟九州ブロック看護管理者等政策セミナーに参加させていただきました。

目的として、

- 1) 看護管理者・看護教育者等として看護を取り巻く環境を共通理解する。
- 2) 看護職の処遇改善に向けた取組を理解し、施設における処遇改善に向けた働きかけを支援する。
- 3) Z世代の会員確保に向けた方策を見出す。

特に、看護職を取り巻く環境はDXの進展により変化しています。看護実践の証明、継続性と一貫性の担保、評価及び質の向上を目指したものであり、患者さんと向き合う時間を確保できるように進めていく必要があります。これからの看護を担う若いY世代・Z世代です。インターネット・スマホを生かすことができる世代です。この中で、看護管理者としてどう育成していくかが見えた気がします。

また、看護協会と看護連盟のあゆみを改めて知る事ができ、相互に将来を考えていく必要性を感じました。組織においてトップに声を上げなければ現状は伝わらない。

これまで、改善等に尽力をつくっていただいた方々に感謝と共に、未来へ看護の声を届けるために、看護職の強い絆が必要であると感じました。



福岡県看護連盟看護管理者トップセミナー
「看護の未来を考える」に参加して



福岡3・6支部 支部長 松村 真理子

令和5年11月25日(土)日本看護連盟の高原静子会長を講師に「看護の未来を考える」というテーマで看護管理者トップセミナーが開催され、77名の看護管理者が参加しました。

講演では、看護の動向を見据えた上で、看護職が専門性を発揮し、やりがいを感じながら人々の健康の維持・増進に貢献するため、看護現場で起きている課題の解決にむけた看護政策を策定する看護協会と、その政策を実現するための政治的な戦略に取り組む看護連盟との協働・連携の重要性や看護職環境改善の取り組みに

ついつい話がありました。年々、看護協会と看護連盟はともに会員数が減少しており、看護管理者として、看護職の専門性を伝える発信力がまだまだ不十分であったと実感しました。看護現場の声を聞き、問題を可視化して専門組織に伝え続けること、制度的に解決するための動きに参画し、リーダーシップを発揮する必要性があることも再確認できました。

最後に、高原静子会長からの「自分たちの未来は自分たちで。専門職として一丸となって一緒に取り組みましょう」と熱く力強い言葉を受け、看護職の代表を国政に送る基盤である連盟会員が1人でも多く増えるよう行動していきたいと思いました。



日本看護連盟 高原静子会長



青年部の窓



新年のごあいさつ

福岡県看護連盟 青年部委員長
宮野 貴紀



皆様新年明けましておめでとうございます。

2023年、新型コロナウイルスも5類へ移行し、青年部の活動も現地開催出来るようになりました。ここ数年でオンラインでの活動のノウハウを身につける事が出来、今後は現地、オンラインのハイブリット開催で青年部の活動により多くの方に参加していただけるようにして参ります。また令和6年2月10日私たち青年部が企画・運営をしている第11回ポリナビワークショップin福岡が開催されます。ハイブリッド開催となっておりますのでご参加よろしくお願ひ致します。2024年度は学生に向けた出張ポリナビをはじめとした若者に向けた活動により一層力を入れていきたいと考えています。また、青年部のメンバーは昨年より新メンバーが多く加入しております。若いメンバーも多く、若い力を引き出せるよう、私も身が引き締まる思いです。新メンバーの紹介をさせていただきますのでご一読くださいませ。また青年部委員長、副委員長の3名が9月23日に開催された九州ブロック協議会に参加して感じたことも併せてご一読いただくと幸いです。今年も福岡県看護連盟青年部をよろしくお願ひ致します。

第11回
ポリナビワークショップin福岡

日 時: 令和6年2月10日(土)
13:00~16:00 (受付12:30開始)

会 場: ナースプラザ福岡 203研修室またはオンライン

対 象: 看護連盟会員・非会員、看護学生

参加費: 無料

申し込み方法: 下記QRコードからお申込みください
申し込み締め切り: 令和6年1月31日

講演Ⅰ「基礎研修～届けよう、看護の声を～」
福岡県看護連盟青年部 武藤純二 阿南大地

講演Ⅱ「DMAT/災害支援ナースが伝えたいこと」
聖マリア病院 仁田原 重政先生

講演Ⅲ「ストレス対応について」
監理病院 精神科専門看護師 大塚 裕貴先生

参加QRコードはこちらです
オンライン参加の方はZoomの名前変更を各自までお願いします。

アンケートQRコードはこちらです
研修後に入力をお願いします。

主催: 福岡県看護連盟青年部 共催: かわせみ 福岡県看護連盟 TEL:092-431-1182

九州ブロック 会長・副会長・幹事長・支部長・青年部合同研修会に参加

青年部を感じる次世代を惹き付けるキーワードとは？

青年部委員長 宮野 貴紀

日本看護連盟幹事岡山さんの講演では医療のDX化、次世代を理解する、のテーマが私の心に突き刺さりました。特に次世代を理解するではZ世代の特徴として合理性がキーワードであり、競うことよりも協調、共闘するという概念をもっている。Z世代の若者を引きつけることが出来れば看護連盟はより大きな力を得ることが出来ると感じました。講演後のグループワークでは、各自が考える次世代を引きつける方策について話し合いました。私は楽しいことをすれば必ずと人が集まるのではないかと考え、看護師フェスの開催を提案しました。話しも盛り上がりましたが、一度に使うエネルギーが高すぎるのが懸念されました。また他県の方から学生への研修を行った際には目を輝かせて話を聴いてくれたとの情報も頂きました。その事から若者は政治のことに決して無関心ではない、知る機会が少なくそれ故に興味を持っていないのではないかと感じました。若者に知る場を提供することは青年部の目指している所です。その場を提供できるよう努力して参ります。



サブスクリプション
subscription

Z世代



青年部 副委員長 櫻田 典久

看護連盟幹事岡山先生による「次世代を惹きつける看護の未来」の研修を受け今後の看護(医療)分野の未来予想として医療のDX化。ついていけるか心配になりましたが…。次世代を理解するではX・Y・Z世代のそれぞれの特徴を学んだ。私(X世代)は好景気を経験してませんが…。Z世代のキーワードの合理性を理解し関わり方を考えさせられました。「選択のオーバーロード現象」では、Z世代に対し合理的な意思決定支援をできるような関わり方が大切と学んだ。最後に看護連盟にできる事は、看護協会と連盟の役割(協会は政策の提言、連盟は政策の実現)を理解することが大事で連盟活動の重要性を再確認することができました。後半は、各役職に分かれて「現在の課題を明らかにし、次世代を惹きつける方策を見出す」をテーマにグループワークを行った。色々な意見を出し合い看護学生のアプローチの仕方や若手会員への会費についてなど様々な意見がでました。グループワークを通して鹿児島沖繩の青年部は非常に魅力的で情熱がありました。最終的には、人材と人材育成が大切!と実感した研修でした。今後、私も沢山の方と交流する事、自己研鑽を行い看護連盟活動を盛り上げたいと思います。

青年部副委員長 安部 美穂

日本看護連盟幹事岡山さんより、日本における現状、社会に起こる変化、看護はどう変わるか、次世代を理解する、看護連盟にできることに関して講義を受け、実際に各県の人たちとグループワークを行い、現在減りつつある連盟会員をどう増やしていくべきなのかを話し合いました。私がいたグループには今まさに「Z世代」と言われる、23歳の青年部の方がいました。その方の話を聞くと、連盟の会費がどのように使用されているのかわからない。青年部も自部署から1名しか出ていないので、一人だと心細い。などの意見がありました。そこで私が考えた今後の連盟会員数を増やすために必要なことは、会費の払い方を増やす。例えば、現在は会費を年末に一括払いしている会費を、サブスクのように月払いにして、入会と退会が行えやすいようにする。年末一括払いで7500円、サブスクで月880円(システム管理費含む)など支払い方法に多様性を持たせることも「Z世代」へのアプローチには有効ではないかと考えました。

令和5年9月23日 鹿児島県にて開催

青年部委員紹介

福岡1・2支部 浜の町病院 結城 かおる

昨年度より青年部のメンバーとして活動に参加させていただいています。分からないことだらけですが、自分なりにできることをやっつけていこうと思っています。



福岡赤十字支部 福岡赤十字病院 丸山 大輔

看護連盟の活動を少しでも多くの方に知ってもらえるよう頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。



福岡5支部 原土井病院 櫻田 典久

今年度、副委員長をする事になりました。宮野委員長を補佐し、楽しく活動できればと考えています。宜しくお願いします。



北九州1・3支部 東和病院 白水 仁

今年度から青年部に参加となりました。みんなで楽しく活動できたらと思います。よろしくお願い致します。



北九州2・2支部 三萩野病院 植田 貴徳

これからも頑張ります。



北九州5-1支部 製鉄記念八幡病院 岡村 佳奈映

初めて連盟に関わるため分からないことばかりですが、色々学びながら活動に携われたらと思っています。よろしくお願い致します。



北九州6支部 産業医科大学病院 柴田 直人

青年部の活動を通して少しでも看護の未来を明るく出来ればと思います。よろしくお願い致します！



筑豊飯塚病院 飯塚病院 宮野 貴紀

今年度から青年部委員長を務めさせて頂いている筑豊飯塚病院支部の宮野です。青年部だけでなく、会員の皆様、全ての看護職の皆様が笑顔でいられるように精一杯努力して参りますので応援よろしくお願い致します。



筑後1-1支部 久留米大学病院 西依 知哉

青年部メンバーとして、皆様のお役に立てるように活動に励みたいと思います。よろしくお願い致します。



筑後1-3支部 聖マリア病院 武藤 純二

今年度から青年部に参加させていただいています。分からないことばかりですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



筑後1-5支部 田主丸中央病院 小柳 敬

若い世代へ基礎研修、看護連盟の活動を通じて伝えていき、明るい看護の未来を目指して活動頑張ります。



福岡3・6支部 さくら病院 加藤 憲昭

青年部での活動は、今年度からですが楽しく活動出来るよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



福岡4支部 糸島医師会病院 眞秀 厚志

2024年の2月に開催されるポリナビワークショップを担当させていただきます。司会を頑張らせて頂きますので、みなさんのご参加をお待ちしております！



福岡5-2支部 宗像水光会総合病院 尾場瀬 将裕

青年部は初めてですが、横の繋がりを大切に楽しく活動していきたいと思っています。宜しくお願い致します。



北九州2支部 小倉リハビリテーション病院 安部 美穂

青年部に入って約6年になります。今まで政治と看護について勉強が出来て、私たちの活動が今後の看護の現場を作る一助になればいいなぁ。と思い活動しています。任期は残り少ないですが、まだまだ頑張っていきたいです。



北九州4支部 戸畑総合病院 野邊 友紀

今年度から活動に参加させて頂くことになりました。微力ながら頑張っていきたいと思っています。宜しくお願い致します。



北九州5-2支部 済生会 八幡総合病院 狭間 剛

青年部に在籍して、はや数年たちましたが、常に勉強させられる日々を過ごしています。青年部の方々と切磋琢磨して、活動して頑張っていきます。よろしくお願い致します。



筑豊1支部 嘉麻赤十字病院 山本 寛之

今年度より青年部に入りました。今まで看護連盟の活動を知らなかった人にも、興味や関心を持ってもらえるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



筑豊2支部 社会保険 直方病院 藤本 貴士

看護連盟での活動を少しでも皆さんに知ってもらえるように頑張ります。よろしくお願い致します。



筑後1-2支部 久留米大学医療センター 阿南 大地

青年部での活動は初めてですが、看護の未来のため積極的に活動していきたいと思っています。今年度より宜しくお願い致します。



筑後1-4支部 古賀病院21 中尾 佳史

筑後1-4支部の中尾です。おそらく青年部の中では最年少の27歳です！今年はこの若さを武器に歳の近い学生や新人・中堅看護師といった若い世代の方々に少しでも連盟活動に興味を持っていただけるように積極的に活動参加をしていきたいです！若い力で看護の未来を作っていきましょう！！



筑後2支部 高木病院 樋本 友重

青年部は2年目になります。若い方に、少しでも連盟活動に興味をもってもらえるように活動したいと思っています。



私たちの支部

筑後1-5支部

支部長 赤穂 弘枝



筑後1-5支部は27施設、会員数316名であり、支部役員9名、青年部1名で活動を行っております。今年度より、長年筑後1-5支部を支えてこられた岩橋支部長が退任されましたが、県幹事

福岡県看護連盟からは、いち早くご支援をいただき、塚崎会長、岩橋幹事長には、衆議院議員、参議院議員の先生方と率先して視察に来ていただきました。この災害を受け、私たち看護師の代表を国政へ送ることが、私たちの職場、仕事、私たち自身の為に重要であることを強く実感する



ことが出来ました。この経験を活かし、一人でも多くの方に看護連盟の活動と選挙活動の必要性を理解していただき、一緒に活動していただくことが出来るよう、今後の活動に繋げていきたいと思ひます。

長に就任され、1-5支部役員大変心強く思っております。私たちの支部は、2017年の九州北部豪雨の被害以降も毎年のように水害が発生しております。また今年も、7月10日久留米市竹野地区をはじめ、支部内多くの地域で災害を経験いたしました。多くの方の支援をいただきましたが、

筑後2支部

支部長 前田 由紀美

筑後2支部は、福岡県県南に位置します。2023年度の会員数513名で、看護学校2校を含む9施設からの役員15名(青年部1名含む)が活動しています。2019年以降、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに始まり、各施設でもクラスター発生などで、思うような活動ができない3年でした。支部会議もままならない時期もありましたが、ZOOM会議などで連携を切らさず活動できたと思ひます。2022年に入ってから、少しずつ対面での会議開催や、支部研修会の開催もできました。昨年の第26回参議院議員選挙においては、支部役員全員での活動が困難で、電話作戦もなかなか成果が得られませんでした。LINEの活用など、今後の選挙活動への示唆も得られたと思ひます。

基礎研修実施を増やし、新規入会へ繋がる反応もみられています。コロナ禍においては、企画しにくかった研修内容も前向きに検討していき、会員数増加を目指して取り組んでいきたいと思ひます。



昨年度に比べ、今年度の会員数が約1割減となりました。支部会議では、意見の集約や反映の難しさを感じる時もありますが、役員各自が前向きに考え、意見を出し合い、研修などの企画・運営にあたっていきます。今年度は、

処遇改善! ~全ての看護職員の賃上げ~

福岡県看護連盟は、福岡県看護協会と協働して『医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する要望書』を、地元国会議員11人と横倉日本医師会名誉会長に直接提出しました。麻生副総裁はじめ熱心に私達の思いや意見に耳を傾けて下さいました。要望書の内容や、詳細については、福岡県看護連盟のホームページに看護現場の声として掲載しています。ぜひご覧ください。



麻生太郎衆議院議員へ要望書を提出

- 衆議院議員・参議院議員・医師会名誉会長(敬称略)
- 福岡1区…井上貴博 福岡2区…鬼木誠
 - 福岡3区…古賀篤 福岡4区…宮内秀樹
 - 福岡6区…鳩山二郎 福岡7区…藤丸敏
 - 福岡8区…麻生太郎 福岡11区…武田良太
 - 福岡県参議院議員…松山政司 大家敏志
 - 比例区参議院議員…自見はなこ
 - 公益社団法人 日本医師会名誉会長…横倉義武

編集後記

編集長 羽江 和子

2024年、明けましておめでとうございます。今年は甲辰(きのえたつ)の年、今まで努力してきたことが実を結び、あらゆる物事がいい方向へむかうと言われております。今回の表紙は、この気運にのり、登り龍とカンタとレンコに、福岡県看護連盟の希望の心を託し、更なる飛躍の年になるようにと思いを込めて作成してみました。皆様にとって、こつこつと努力してきたあゆみが、良き実を結び「達(辰)成」の年になりますように、みんなで力を合わせていきましょう。